



漆(うるし)

5月号 令和6年5月15日

始良市立漆小学校

校訓：清く 正しく たくましく

TEL：0995-52-8600

FAX：0995-54-3927

E-mail：urushi@po12.synapse.ne.jp



「あいさつ」の素晴らしさ

校長 白水 理恵

「おはようございます」「さようなら」今日も子供たちは、朝、学校の門をくぐる時、そして夕方、下校する時に、大きな声で校舎に向かってあいさつをします。そこに誰かが見えなくても、たとえ一人でも、必ず全員が元気いっぱいの声であいさつをします。32人の「おはよう」「さようなら」を聞くと、自然と笑顔がこぼれます。きっと学校周辺に住む皆様も、その声に目を細めながら「今日も一日がんばるんだよ。」「気を付けて帰るんだよ。」と、子供たちの無事を案じてくださっているのではないのでしょうか。

さて、このあいさつは、漆小学校の子供たちのよき伝統となっています。子供たちが毎日元気にあいさつするということは、どの子も心身共に健康で、満たされた状態にあるということです。朝は各御家庭で「行ってらっしゃい。」と笑顔でお子さんを送り出してください、帰宅時は「お帰りなさい。」と温かく迎えてくださっているに違いありません。御家庭で愛情をいっぱいもらった子供たちは、その声を力に変えて、日々、学校で学習や運動に取り組んでいるのです。そう考えると、子供の教育の原点である御家庭で、あいさつの素晴らしさを体得させてくださっている保護者の皆様に感謝せずにはられません。

本校のキャッチフレーズは「**あいさついっぱい 花いっぱい 小鳥を愛する 漆っ子**」です。私たちは自然豊かな本校で、澄んだ空気に包まれながら、何事にも目を輝かせて頑張る子供たちの育成を目指し、学校教育を行っています。先に述べた「あいさつ」をはじめとした、基本的な生活習慣を身に付けた子供の育成、学校の特色を生かした教育課程の実現、地域の特性を生かした魅力ある体験活動、そして全職員が一体となり子供たちが楽しく、よく分かり、活発に活動する教育活動の推進を図ります。つまり、子供たちが常に「喜んで登校、満足して下校」できる学校を目指しています。学校と家庭・地域及び教育諸関係機関との連携を密にし、安全で信頼される開かれた学校づくりに努めます。どうぞ皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

ところで、過日行った「交通安全教室」に、たくさんの関係の方々がお越しくださいました。いつも子供たちの登下校を見守り、その様子を知らせてくださる、スクールガードリーダーの内村様、市教育委員会通学路安全対策アドバイザーの福谷様はじめ、市役所生活安全係の3名の皆様、始良警察署から2名の方々と、計7名もの皆様です。1・2年生には道路での正しい歩行や横断の仕方を、3年生以上には自転車に乗る前の安全点検と安全な乗り方を、7名の講師の方々が丁寧に分かりやすく説明され、実技指導を行ってくださいました。子供たちの安全を願う皆様のお気持ち、ひしひしと伝わってきた45分間でした。このように、本校の子供たちを守り育ててくださる皆様にも、改めて感謝申し上げます。

最後に、5月10日から16日は「**愛鳥週間**」です。愛鳥週間の目的は「野鳥に関する正しい知識、役割についての理解を深め、野鳥を保護する心を広めること」です。本校は「愛鳥モデル校」に指定されています。校内には様々な小鳥のさえずりが響いています。「あれは何の鳥だろう」と思うくらいに、聞き覚えのない珍しい鳥の鳴き声を耳にすることも少なくありません。校舎内には、多数の小鳥のオブジェもあります。学校だけでなく、今後、写真で紹介させていただきますが、興味のあられる方は、お気軽に校長室をお尋ねください。精一杯、御案内させていただきます。



【写真 左：おおり 右：やまがら（校長室より）】